

## 移住者インタビュー～移住者にお聞きしました～

### 第3回：吉田 典生（よしだ のりお）さん（41歳）

#### 【プロフィール】

吉田さんは2011年3月に、東京都小金井市から春日地区に転入されました。

学生時代は川上村でレタス農家のアルバイトをし、厳しい労働の後、同僚とともに小川のへりを歩きながら駄菓子屋に行き、アイスクャンデーを食べる・・・そんな清々しさに魅せられたそうです。

10年間の国家公務員（国税庁）生活を経て、**自然の中で仕事をする喜び**を再び味わいたいと、農業を志しました。

小諸の農業大学校で受講し、春日の里親に教わり、長者原で耕作を始めました。**Farm めぐる株式会社**の代表者として、今は**新規就農を目指す人を積極的に受け入れ**ておられます。

#### （1）佐久市に移住された理由

- 学生時代の経験もあり、**初めから長野県**に決めており、農業大学校から紹介された研修先が春日の農園であったので、自ずと佐久市に落ち着いた。
- **農業のスタートにふさわしい土地**として佐久市を選んだので、居住地に関してあちこち情報を集めたりしたことはなかった。

#### （2）佐久市に移住された感想

##### ～良かったこと～

- **子供を育てる環境面では大変良い所**と思う。坂道の通園通学で身体も鍛えられ、近所の方々にも可愛がられているが、都会では考えられない。
- 長者原で耕作を始めたが、**周囲の方々のご理解・ご協力**があり大変スムーズに着地できた。**互いに尊重し、譲り合う風土**がある。

##### ～悪かったこと～

- ひたすら**寒い**こと・・・しかしこの寒さのお蔭で「寒干大根（凍み大根）」が出来、商品になっている。

#### （3）これからの目標

- 今年法人化し、耕作面積も拡大してきたので、これからは**地域を牽引する農業法人**になっていきたい。
- 会社の共働者4名（内3名は移住者）と一緒に野菜作りを発展させたい。